



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

新市長はこれまでの市政をどのように総括し 新しいまちづくりを進めるのか？

9/15
9月議会開会

小紫市長のもとでの初めての決算審査！

今日から9月議会。審議案件は今日、本会議に上程されます。法律の改正に伴う市条例の条文の文言修正に留まるような案件は今週末の本会議で採決、委員会で審査を行うものは最終本会議で採決します。今回の案件は補正予算案件2件、条例関係5件、26年度決算などです。具体的には10月からマイナンバー

法が施行されることに伴う条文の改正、昨年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により市で独自に教育委員の数を定めることができるようになったため、定数を8人にするものなどです。8月に開催された議会運営委員会で表のような日程案が示されました。正式な日程は9月9日の同委員会で

決定。

26年度、小紫市長は副市長として施策を進められました。今回の審査を通じ、新市長の市政方針がよりわかりやすくなると思われます。伊木は今回は一般質問を行わず、決算審査に注力します。

議案は市議会ホームページをご覧ください。

全ての会議は原則公開です。本会議・委員会は市議会ホームページ会議中継 からご覧いただけます。

日程	午前10時	午後1時
9月15日(火)	本会議・一般質問	一般質問
9月16-18日	一般質問・本会議	一般質問・本会議
9月24日(木)	都市建設委員会・予算委員会	市民福祉委員会・予算委員会
9月25日(金)	環境文教委員会・予算委員会	企画総務委員会・予算委員会
9月29日(火)	予算委員会	
9月30日(水)	決算審査特別委員会(都市建設分科会)	
10月1,2,5日	決算審査特別委員会(市民福祉, 環境文教, 企画総務分科会)	
10月8日(木)	本会議	

市立病院
6/1 開院

9/7、市民参加の病院づくりスタート！

生駒市立病院が6月に開院、診療を始めました。たくさんの救急患者を受け入れて「市民の命の砦」(市長の開院挨拶より引用)の役目を果たしています。

9月7日には市立病院の管理運営協議会が初めて開かれました。この協議会は市民が全国の公立病院を調査し設置を提案。市と指定管理者の双方が合意し『両者の管理運営に関する協議に市民等の意見を反映させることで、健全な管理運営及び市民参加の病院を実現すること』を目的として設置されました。会長は市長、副会長は病院長。7日は公募市民3人と地元などの自治会から3人が会員として参加。医師会にお願いするも現時点で未定とのことで医師会等医療従事者枠の会員は参加されませんでした。会議は公開。9人の傍聴がありました。

今回はこれまでの経緯や病院事業計画などの説明に時間を取りましたが、『歩行者専用道路の標示がわかりにくい。待合にテレビ設置を。市立病院で市の検診・健診を受けられるようにしてほしい・・・』

等々、意見が出されました。院長や事務長が『気が付かない点を指摘していただきありがとうございます。わかりやすい標示を検討します・・・今日、院内にご意見箱を設置しました。いろんなチャンネルで皆さんの声を聴いていきたい・・・』など回答。

この協議会の特徴は市民が市長や院長と同じテーブルについて話し合う点です。同様の会議体は市立奈良病院など、他の公立病院にもあります。しかし、市民や医療関係者から出た意見をまとめて、市や病院に伝えているもので、院長・市長と市民が同じテーブルについて意見を交わすものではありません。全国でもまれな取り組み。しっかり育てていきたいものです。

次の開催は来年2月頃です。市民や医療関係者の声が直接市長、病院長に届き、互いの考えや実情を知ったうえで市民参加のもと病院が健全に運営されることを願います。



～ 伊木の3期目の活動より ～

ホーム
ページ

伊木まり子

検索

4月26日、前回より74人多い2,893人の皆様からご支援頂き、三度、生駒市議会議員を務めさせていただくことになりました。選挙事務所の片づけが一段落した5月9日、まずは、医療連携を学ぼうと長崎へ出かけました。

5/9 第6回あじさいネット研究会 地域医療 ICT ネットワーク シンポジウム in 長崎 ～ 広域地域医療連携ネットワーク の価値と課題 ～ に参加

患者中心の地域医療連携・地域包括ケアの実現をめざし、ICTを活用し取り組んでいる全国の先進4団体が発表。質の高い地域完結型医療の実現やかかりつけ医が総合診療医の役割を果たすためにはICTの活用は必須との意見。救急の現場における救命事例の紹介もあり、5時間半に及ぶ議論に聞き入りました。

(詳細は伊木まり子後援会ホームページをご覧ください)

5/14 臨時議会：議長選、伊木に2票？

臨時議会、私は議長には中谷議員が適任と考え投票。なぜか私に2票？ 以前から議長選前に所信表明をお願いしたいと考えていて、今回、事務局とも相談したのですが、提案する機会がないと判断。見送りました。次回は所信表明の実現を実現したいものです。

市民福祉委員会委員長、国保運営協議会委員、病院事業推進委員会の議会選出委員、奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員を務めます。

平成30年の広域化では国保は県下統一保険料になる見込み。生駒市では値上げすることになりそうです。

6月議会：市立病院事業関連

開院後、市内外からの救急患者の受け入れは多いのですが、予想に反し通常の外来や入院の患者数が少ない現状です。病気になる人のいないことが望ましいのですが、病院の経営を考えると気掛かりです。

市立病院を受診先の選択肢の一つとして検討するときには病院の診療情報が必要です。ホームページの充実を求めました。また、市立病院は9年前に地元医師会から提供された資料に基づき必要な診療科を決めました。診療科目を見直すときには最近のレセプトからのデータも活用するよう求めました(一般質問)。

また、最終本会議の討論において、全国各地で地域医療を自分たちで守ろうと取組まれていること、行政や議会が対応を誤り地域医療が崩壊した事例のあることを紹介。市立病院が将来にわたって地域医療を充実し、救急医療や災害時医療の拠点としての機能を発揮し、市民の命を守り続けられるよう、皆さんに配慮をお願いしました。

3期目、伊木が目指すまちは『市立病院を中心とした健康都市いこま』



猛暑の夏、何とか乗り切りました！

7月、8月は参加するNP0の勉強会で講師を務めました。7月は地域包括ケア、8月は5/9のあじさいネット研究会報告。8月はNP0主催の市立病院親子見学会と地元自治会の夏祭り。夏祭りは子どもたちを喜ばせようとそうめん流しやゲームを準備。当日のクライマックスは餅まき。途中から雨、土砂降りに・・・でも皆さんの熱意で、猛暑の夏、私は楽しく過ごしました。

6月議会：安保法制改定法案の廃案を求める意見書に賛同。しかし、賛成8、反対15で否決。

日本という国家のよりどころである憲法の解釈を1内閣の閣議決定で変更することなど法治国家としては考え難いことです。また、武力による解決の前にあらゆる手段を用いた外交努力を求めます。

補正予算案に対する附帯決議に反対。反対3で議会は可決。

生駒北スポーツセンターの整備に対して地元住民の合意が得られていないとして、地元住民の意向を無視して強引に事業を進めないように等求める附帯決議が提案されました。自治会から議長に提出された書面や担当課からの説明、他の議員の意見などを総合的に判断して、私には強引とまでは思われず、市と地元の協議を見守りたいと考えました。地元との折り合いが付き、子どもたちの健全育成、夢を与える施設として運営できることを期待しています。

編集後記：既に議会として議決方針が決定した案件に対する意見への対応には私には苦慮しています。市では議会の開催や議案について周知していないことに気づきました。議案審査までに議案をお知らせしたいと考えました。14日が新聞休刊日の為、開会日の折込となってしまいました。ご覧いただけたら幸いです。まり子